

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年6月29日（月）

2 確認箇所

- ・使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）（図1）
- ・H1タンクエリア（図1）

3 確認項目

- （1）使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）の状況
- （2）ALPS処理水の移送状況

4 確認結果の概要

（1）使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）の状況

東京電力では、セシウム吸着装置や多核種除去設備等から発生する水処理二次廃棄物について、漏えいや汚染拡大のリスクを低減するため、安定化処理及び建屋内保管への移行を計画としている。現在、これらの水処理二次廃棄物は、使用済セシウム吸着塔一時保管施設等の屋外施設で保管されている。

今回、セシウム吸着装置（KURION）、第二セシウム吸着装置（SARRY）等で使用された使用済吸着塔等を保管している使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）（以下「第四施設」という。）の状況を確認した。（前回確認：[令和元年6月19日](#)）

- ・第四施設では、コンクリート製ボックスカルバート及び架台が設置されており、架台には使用済吸着塔が保管されていることを確認した。（写真1）
- ・現場では、施設周辺のほか、ボックスカルバート間通路の空間線量率の測定結果が表示されていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、設備の破損や水の漏えい等の異常は認められなかった。

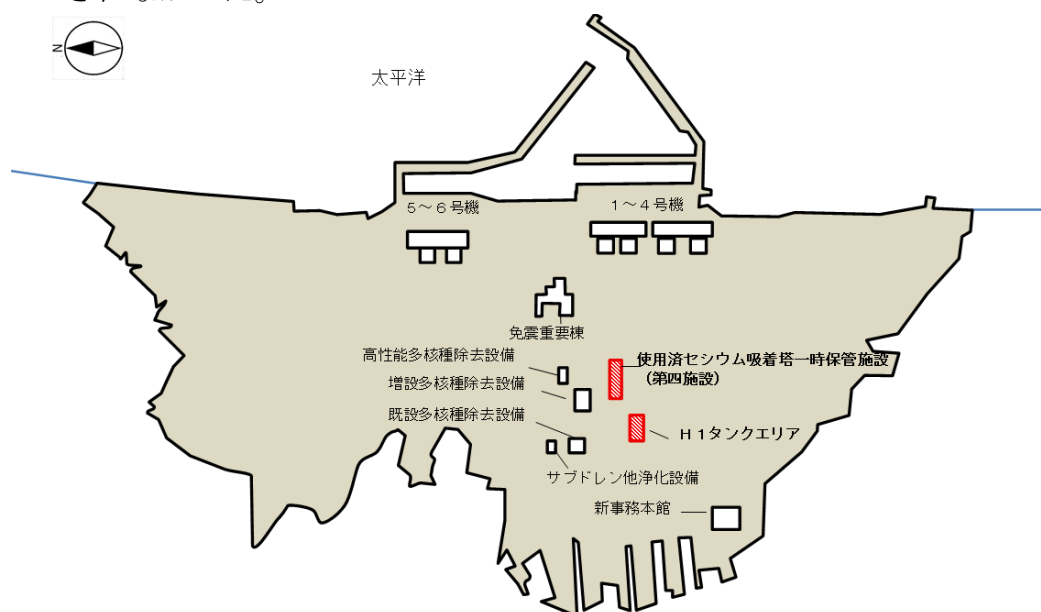
（2）ALPS処理水の移送状況

東京電力では、多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋放出に当たり、希釈前のALPS処理水の放射性核種濃度や水質を測定し、トリチウム以外の放射性核種濃度が法令上の基準以下となっていることを確認している。また、トリチウムについても、ALPS処理水を海水で希釈した水について、法令上の基準（ $60,000\text{Bq/L}$ ）を下回る運用目標（ $1,500\text{Bq/L}$ ）を設定し、当該目標値以下であることを確認した上で海洋放出を行っている。

今回、ALPS処理水の第23回目（令和8年度第5回目）の放出に向け、移送元タンク群から測定・確認用タンク群へのALPS処理水の移送が行

われたことから、移送元タンク群であるH1東エリアA/Bタンクにおいて状況を確認した。（写真3）

- ・現場確認時には、作業員3名によりALPS処理水の移送作業が行われていた。
- ・タンクと配管との接続部には養生が施されていたほか、移送ポンプ及び周辺配管の下部には堰付きの受け設備及び漏えい検知器が設置されていた。（写真4）
- ・確認した範囲において、タンク及び接続配管からの漏えい等の異常は確認されなかった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1－1）

第四施設の状況（コンクリート製ボックスカルバートの設置状況）



（写真1－2）

第四施設の状況（架台及び架台上のセシウム吸着塔の状況）

測定位置	測定値	単位
H1タンク東エリア	0.0004	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0005	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0006	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0007	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0008	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0009	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0010	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0011	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0012	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0013	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0014	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0015	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0016	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0017	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0018	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0019	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0020	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0021	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0022	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0023	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0024	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0025	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0026	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0027	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0028	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0029	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0030	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0031	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0032	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0033	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0034	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0035	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0036	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0037	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0038	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0039	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0040	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0041	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0042	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0043	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0044	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0045	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0046	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0047	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0048	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0049	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0050	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0051	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0052	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0053	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0054	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0055	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0056	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0057	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0058	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0059	mSv/h
H1タンク東エリア	0.0060	mSv/h

(写真 2－1)
施設周辺の空間線量率の測定結果の表示（ γ 線で0.0004～0.0060mSv/h）の表示



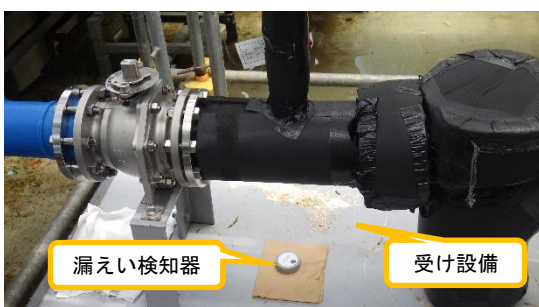
(写真 2－2)
ボックスカルバート間通路の空間線量率の表示（0.060mSv/hの表示）



(写真 3)
H1タンク東エリア



(写真 4－1)
移送用ポンプ（現場確認時は、左側のポンプ（No. 2）が稼働）



(写真 4－2)
配管の下部に設置された受け設備



(写真 4－3)

タンクと配管との接続部（養生が施され、配管下には受け容器が設置）

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。